

## 第20回埼玉県母性衛生学会総会・学術講演会プログラム

埼玉県母性衛生学会  
<http://sbe.umin.jp/>

§ 日 時 平成15年11月7日(金) 13時から

§ 場 所 埼玉県県民健康センター2F大ホール  
さいたま市浦和区仲町3-5-1 電話048-824-4801

司 会 馬 場 一 憲 理事

1. 学会長挨拶(13:00) 埼玉県母性衛生学会会長 竹 田 省

2. 一般演題(13:02~15:57)

周産期管理と看護(13:02~13:44)

座長 馬 場 一 憲(埼玉医科大学総合医療センター)

1) 潰瘍性大腸炎合併妊娠の一症例

獨協医科大学越谷病院産科婦人科

濱田佳伸、矢追正幸、友部勝実、堀中俊孝、榎本英夫、大藏健義

2) 臨床検査技師による妊娠中期超音波スクリーニング - 愛和病院における1年間の成績

愛和病院臨床検査室

関原真紀、野澤直子、竹内久彌、上里忠司、藤田壽太郎

3) 周産期の麻疹罹患への対応 - 3症例をととして -

防衛医科大学校病院産科病棟

松田明子、高橋由佳、小谷野マミ、大村祐子、小林由美子、上村志津子

4) 当院における、過去5年間の飛び込み分娩の検討

熊谷総合病院分娩室<sup>1)</sup>、同新生児室<sup>2)</sup>、同産婦人科<sup>3)</sup>

三橋寛子<sup>1)</sup>、高田和江<sup>1)</sup>、矢崎美津枝<sup>1)</sup>、金澤恵美子<sup>1)</sup>、瀬山澄江<sup>1)</sup>、  
津野ミヨ子<sup>1)</sup>、上 智子<sup>2)</sup>、清水静枝<sup>2)</sup>、芝 美代子<sup>2)</sup>、白根裕美子<sup>2)</sup>、  
田島知佳子<sup>2)</sup>、鯨井春枝<sup>2)</sup>、中よし子<sup>2)</sup>、高橋 通<sup>3)</sup>、佐久間 洋<sup>3)</sup>

- 5) 産後出血による重症貧血より、急性腎不全を起こした一例と呼吸不全を起こした一例

さいたま赤十字病院産婦人科

中村 学、水竹佐知子、宮本純孝、富田初男、安藤昭彦

- 6) 地域周産期医療センターとしての役割と現状

さいたま市立病院産婦人科

長西美和、谷垣伸治、宮本佳栄、佐藤 卓、池田俊之、矢久保和美、  
福井谷達郎

看護・看護教育 ( 13 : 44 ~ 14 : 19 )

座長 山 崎 ト ヨ ( 埼玉医科大学短期大学 )

- 7) 看護教員による妊娠期の健康教育 - 第1報 病院の健康まつりと協働して -  
埼玉県立大学短期大学部看護学科

坂本めぐみ、兼宗美幸

- 8) 看護教員による妊娠期の健康教育 - 第2報 看護学生と妊婦および夫の意見  
の考察 -

埼玉県立大学短期大学部看護学科

兼宗美幸、坂本めぐみ

- 9) 助産師学生の「問診」技術に対する一考察

埼玉医科大学短期大学専攻科母子看護学専攻

羽根田公江、檜原洋子、山崎トヨ

- 10) 患者用パスを用いた看護師の指導に対する褥婦の理解状況

国立西埼玉中央病院産婦人科病棟

栗原香奈子、山中千絵

- 11) 「安全な助産所分娩のために」マニュアル作りの一考察

日本助産師会埼玉県支部助産所部会開業助産婦

桜井裕子、中島桂子、関根はつみ、阿部淳子、飯島さち子

性教育（１４：１９～１４：４０）

座長 青木美子（埼玉県養護教員会）

12) 小学校における性教育の取り組み

春日部市立豊野小学校養護教諭

山田直子

13) 中学校における性教育の取り組み

埼玉大学教育学部附属中学校養護教諭

吉田由美子

14) 高等学校での性教育の実践 - カウンセリング技法を生かした個別指導を実施しながら -

埼玉県立浦和西高等学校養護教諭

堀田美枝子

精神的ケア・援助（１４：４０～１５：１５）

座長 石井牧子（丸山記念総合病院）

15) 胎児異常を診断された家族への援助

獨協医科大学越谷病院産婦人科病棟

佐々木志野、久保田智子、手島幸代、大藏健義

16) 母体搬送された妊婦の看護について - 入院時のストレス調査を実施して -

さいたま市立病院

早川真由美、王美貴、石森佳子

17) 当院における妊産褥婦に対する支援の実際 - 精神的な諸問題を訴える症例について -

木野産婦人科医院<sup>1)</sup>、こうぬまクリニック<sup>2)</sup>

嵯峨芳子<sup>1)</sup>、木野秀郷<sup>2)</sup>、鈴木仁史<sup>2)</sup>

18) 出産後の母親の心理構造（１）

中島産婦人科医院

丸谷充子、中島 洋

19) 死産を体験された患者の現状と援助者の課題

埼玉医科大学附属病院産婦人科

坂本智子、青木里美、遠藤直生子、阿久津由香、小林浩一、石原 理、金子やす子、桜井和美、島田雅子

育児支援・産褥指導（15：15～15：57）

座長 小田切房子（埼玉県立大学短期大学部）

20) 当センターにおけるフォローアップ外来の実際

埼玉医科大学総合医療センター総合周産期母子医療センター

船江玲子、本間真紀、白石道子、松本幸子、斉藤正博、馬場一憲、竹田 省

21) 当NICUにおける超低出生体重児の母乳栄養についての取り組み

埼玉県立小児医療センター

山下みゆき、株崎雅子、須田和子

22) 心肺停止蘇生後の経口哺乳確立への援助 - 母親への関わりを通して -

川口市立医療センター

川上こずえ、赤坂朝子、金井幸代

23) 分娩直後のカンガルーケア～産褥早期の育児行動に及ぼす影響～

防衛医科大学校病院産科病棟

皆川亜美、上村志津子、晴山路子、藤本真由子

24) 「愛着が弱い」幼児の母子関係を吟味する - 12ヵ月健診後の取り組み -

こうぬまクリニック<sup>1)</sup>、木野産婦人科医院<sup>2)</sup>、慈恵医大柏病院<sup>3)</sup>、さいたま市立病院<sup>4)</sup>

鈴木仁史<sup>1)</sup>、嵯峨芳子<sup>2)</sup>、相原由香<sup>2)</sup>、古川はるこ<sup>1)3)</sup>、茶谷明子<sup>1)4)</sup>、木野秀郷<sup>2)</sup>

25) 新生児訪問指導の現状と今後の課題

川口工業総合病院産婦人科病棟

桐原まち子、町田志帆子、栗原多美子、小島諸子

3. 総 会 ( 1 5 : 5 7 ~ 1 6 : 0 7 )

- |                               |            |
|-------------------------------|------------|
| 1) 平成14年度埼玉県母性衛生学会収支決算について    | 林 雅 敏 理事   |
| 2) 監査報告                       | 佐 藤 辰 之 監事 |
| 3) 平成15年度埼玉県母性衛生学会収支予算(案)について | 林 雅 敏 理事   |
| 4) 埼玉県産婦人科医会会長挨拶              | 柏 崎 研 様    |

#### 4. シンポジウム ( 16 : 07 ~ 18 : 07 )

テーマ「妊産婦死亡第3位の埼玉県の現状・問題点とその対策」

座長 搬送依頼施設代表 柏 崎 研（有床診療所）  
座長 受入施設代表 栃 木 武 一（地域周産期）

- 1) 妊産婦死亡の現状  
埼玉医科大学総合医療センター総合周産期母子医療センター  
産婦人科教授 竹 田 省
- 2) 行政のこれまでの体制整備と今後の課題・取り組み  
埼玉県健康福祉部医療整備課  
課長 宮 山 徳 司
- 3) 助産所の安全対策  
中島助産院  
院長 中 島 桂 子
- 4) 搬送依頼施設の立場から（有床診療所開業医）  
平田クリニック  
院長 平 田 善 康
- 5) 受け入れ施設の立場からの安全対策と問題点  
さいたま市立病院地域周産期母子医療センター  
所長 福井谷達郎

6) 受入施設の立場から(総合周産期施設)

埼玉医科大学総合医療センター総合周産期母子医療センター  
産婦人科 木下 二 宣

5. 閉 会

馬 場 一 憲 理事

一般演題の講演時間は1 題につき発表 5 分、討論 2 分です(時間厳守のこと)。

スライドプロジェクター、液晶プロジェクター及びパソコンを各 1 台ご用意いたしますが、ご使用いただく機材はスライド又はパソコンといたします。

一般演題のスライドは 1 題につき 10 枚以内(1 面映写)でお願いいたします。

産婦人科医師には、日本産科婦人科学会研修受講 10 単位シール及び日本産婦人科医会研修受講シールを発行します。

学会会員は、参加費及び年会費として、合計 2,000 円を当日頂戴します。

学会会員以外の方は、学会参加費として、1,000 円を当日頂戴します。